

Cytochrome P450 Biodiversity & Biotechnology への参加報告

理学研究科理学専攻 物質・生命化学領域 生物無機化学研究室

博士後期課程 1 年 須貝友紀

【出張先・出張期間】

イタリア・トリノ 2024 年 6 月 22 日～6 月 29 日

【出張目的】

16th International Symposium Cytochrome P450 Biodiversity & Biotechnology への参加、ポスター発表、交流

【概要】

植物や昆虫、微生物等に由来するシトクロム P450 酵素群の機能や物質生産への応用に関する国際学会『Cytochrome P450 Biodiversity & Biotechnology』に参加し、ポスター発表とショートトークを行った。

【所感】

シトクロム P450 に関する研究全般を対象とした学会のため、酵素の探索から産業利用まで幅広い内容の発表が行われていた。同じ酵素を利用していても私の研究とは全く別の方向に進展している内容も多く、自身の研究の長所や分野における立ち位置を見つめ直す機会となった。また、現在の体系を確立させた著名な先生方が参加されており、研究が進展してきた歴史が窺い知ることができた。王家から科学会へ贈られた講堂や大学の植物园を見学する時間があり、他の学会参加者と国ごとの科学教育や研究体制について情報交換をしたり、お互いの興味のある事柄について語り合ったりする機会もあった。規模の小さな学会であったため顔を覚えてもらいやすく、他の日本人参加者やトリノ周辺の大学の学生・研究者と深く交流して良い関係を築くことができたと感じている。

このような貴重な機会を与えてくださいました荘司長三教授、旅費をはじめとしたご支援をいただいた GTR 学生支援室の皆様に深く感謝申し上げます。



ポスター会場（左上）、植物园（左下）、
科学会での Opening lecture（右）の様子